

展示資料一覧

※カッコ内の西暦は録音年です。タイトル・演奏者の表記は当館のOPACに準じています。

1.カレワラ

Symphonies 1-7 / Sibelius (2012-2016年)

- 請求記号：XD75037
- 演奏者：パリ管弦楽団；パーヴォ・ヤルヴィ, 指揮

シベリウスをもっと深く知りたい、そんなあなたにはコチラ

NHK交響楽団首席指揮者でもあるパーヴォ・ヤルヴィ指揮、パリ管弦楽団によるシベリウス交響曲全集。7つの交響曲からは、今もなお異彩を放つシベリウス独自の感性がうかがえます。当時すでに「過去の遺産」と扱われていた交響曲の創作に、なぜ生涯にわたってこだわり続けたのか…。アルバムの中に、その答えがあります。ブックレットには、日本のシベリウス研究の第一人者である神部智先生の解説も！要チェックです♪

Kullervo : symphony op. 7 ; Oma maa ; Tulen synty / Sibelius (1985年)

- 請求記号：XD1264
- 演奏者：ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団；パーヴォ・ベルグルンド, 指揮 ほか

シベリウスの本格的デビュー作《クレルヴォ 作品7》を収録♪

題材となった「クレルヴォ」とは、『カレワラ』第31～36章に収録された英雄クレルヴォの悲劇のことで、現代にいたるまで、多くのフィンランド人芸術家たちを魅了してきました。《クレルヴォ 作品7》は、『カレワラ』を題材とした作品としては史上初の交響詩であり、5楽章構成、2人の独唱と合唱付きの大規模な作品となっています。解説書の対訳を読みながら聴くのもヨシ。『カレワラ』入門としてもおすすめしたい一枚です(^^♪

Finlandia : op. 26, no. 7 ; Der Schwan von Tuonela = The swan of Tuonela : op. 22 no. 2 ; Valse triste : op. 44 ; Tapiola : op. 112 / Jean Sibelius (1984)

- 請求記号：XD6444
- 演奏者：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団；ヘルベルト・フォン・カラヤン, 指揮 ほか

シベリウス入門にはコレ(^^♪

《フィンランディア》や《トゥオネラの白鳥》など、一度は聴いたことのあるシベリウスの交響詩の傑作を、巨匠カラヤンによる指揮で味わうことができます。《トゥオネラの白鳥》や晩年の大作《タピオラ》も、実は民族叙事詩『カレワラ』の物語に着想を得た作品。まさしく神話の世界を体現するような幽玄な趣きの作品の数々、ぜひご一聴あれ♪

Others



Northern lights / music by Sibelius ... [et al.]

- 請求記号：XD34501
- 演奏者：さまざまな演奏者

The seven symphonies ; Kullervo / Jean Sibelius

- 請求記号：XD77474
- 演奏者：Minnesota Orchestra ; Osmo Vänskä, conductor ほか

Great tone poems / Sibelius

- 請求記号：XD25234
- 演奏者：ハルレ管弦楽団；ジョン・バルビローリ, 指揮

展示資料一覧

2.カンテレ

Praemia lucis : the gift of light / Hildegard von Bingen (2007年)

- 請求記号：XD66970
- 演奏者：Uli Kontu-Korhonen, soprano, dulcimer, symphony, 5 string kantele

中世フィンランドの響きが、いま、甦る...

フィンランドのソプラノ歌手Uli Kontu-Korhonenによる、中世フィンランドの聖歌やカレワラ民謡などを収めたアルバム。独唱のほか、カンテレやダルシマーなど様々な伝統楽器の弾き語りも！レコーディングはフィンランドのナーンタリ教会にて。絹のようにつややかな彼女の歌声を聴きながら、中世のフィンランドに想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

Kantele duo : Finnish folk & favourites (1995年)

- 請求記号：XD33903
- 演奏者：シニッカ・ヤルヴィネン, マッティ・コンティオ, カンテレ・デュオ

北欧の民俗楽器の世界へようこそ♪

フィンランドの擦弦楽器カンテレのデュオによる、フィンランド民謡からポップな作品まで、カンテレの魅力が凝縮された一枚。マンドリン、はたまたチェンバロを思わせるきらびやかな弦の音色は、美しさと哀愁に満ちています。古くからカンテレは『カレワラ』の伴奏楽器として使われ、現在ではフィンランドの音楽教育でも活用されるなど、時代を超えてフィンランドの人々に親しまれています。このアルバム、筆者はリラックスしたいときの必需品として愛聴しています。(笑)

New Finnish kantele (1992-1993年)

- 請求記号：XD30096
- 演奏者：リトヴァ・コイスティネン, カンテレ ほか

カンテレ・サウンドの未来型がここに！

カンテレの唯一無二のサウンドは、これまでも多くの作曲家を虜にしてきました。このアルバムは、20世紀以降の作曲家たちがカンテレのために書いた作品を収めています。「新時代のカンテレ」というアルバムタイトルの通り、現代的書法も取り入れながら、カンテレを使った新しい響きの探求が行われています。万華鏡のように、さまざまに音色を変化させるカンテレの新たな側面に気づかされる一枚。ご賞味あれ！

Others



Kantele = カンテレ / はざた雅子

- 請求記号：XD41570
- 演奏者：はざた雅子, カンテレ

The old and new Kantele = Die alte und neue Kantele / Martti Pokela

- 請求記号：XD14268
- 演奏者：Martti Pokela, Eeva-Leena Pokela-Sariola, Matti Kontio, kanteles

展示資料一覧

3. 合唱大園！

Toki! : new male voices / The Polytech Choir ; Tapani Lansio,[conductor] (1989, 1990年)

- 請求記号：XD11681
- 演奏者：リトヴァ・コイスティネン, カンテレ ほか

こんなにもユニークな合唱作品、あなたは聴いたことがありますか？

オッリ・コルテカンガスやエルッキ・サルメンハーラなど、20世紀後半から現代にかけて活躍するフィンランド人作曲家の男声合唱作品を集めたアルバム。同年代のサーリアホやリンドベルイと比べると、日本ではなかなかお目にかかることのない作曲家の作品が並んでいますが、前衛的なものから宗教的なものまで、その作風はさまざま。オリジナリティ溢れる作品からは、中央ヨーロッパから離れたフィンランドの地で、独自のスタイルを確立しようとする作曲家たちの創意性も見てとれて興味深いです。

Best of Finnish choral classics (1978-1995年)

- 請求記号：XD51501
- 演奏者：さまざまな演奏者

これぞまさに天上の歌声…。

フィンランド合唱の傑作選！誰もが一度は聴いたことがあるであろう、シベリウス《フィンランド賛歌》や、フィンランド国歌の作曲者としても知られるフレドリック・パシウスの合唱作品も収録。なかでも、シベリウスと同時代に活躍しながら、フィンランド内戦によってわずか34歳で生涯を閉じた作曲家、トイヴォ・クーラの合唱作品の耽美なハーモニーには、思わず息をのむほど。シベリウスだけじゃない、フィンランドの作曲家たちの（隠れた）名曲の数々に触れることができる貴重なアルバムです。

突然
ですが

フィンランド豆知識

01 シベリウスのひ孫はヘヴィメタ・ベーシスト!?



実は「ヘヴィ・メタル大国」でもあるフィンランド。「一人当たりのヘヴィメタルバンドの数が世界で最も多い」なんていう調査結果も！シベリウスのひ孫ラウリ・ポラー (Lauri Porra, 1977-) は現在、ヘヴィメタルバンド「ストラトヴァリウス」のベーシストとして活躍しています。

Others



Verbum : choral works / by Kortekangas, Heiniö & Kyllönen, Saariaho, Lämsä.

- 請求記号：XD32590
- 演奏者：The Tapiola Chamber Choir ; Eric-Olof Söderström, conductor.

Vision of man : 20th century male voice choir music

- 請求記号：XD38577
- 演奏者：ヘルシンキ大学男声合唱団 ; タッラ・ヴォーカル・アンサンブル ; マッティ・ヒヨッキ, 指揮.

Der Schwanengesang / Heinrich Schütz ; the Tapiola Chamber Choir ; Paul Hillier, conductor

- 請求記号：XD37516
- 演奏者：ポール・ニコルソン, チェンバー・オルガン ; デイヴィッド・ミラー, アーチリュート ; タピオラ室内合唱団 ; ポール・ヒリアー, 指揮

Complete choral songs for mixed, female and children's voices / Jean Sibelius

- 請求記号：XD40078
- 演奏者：タピオラ室内合唱団, シベリウス友の会合唱団, ハンヌ・ノルヤネン, 指揮 ; タピオラ合唱団, カリ・アラ=ポヨラネン, 指揮

展示資料一覧

4. 日本との交流

木々のうた：21世紀へのメッセージ（2001年）

- 請求記号：XD47545
- 演奏者：静岡児童合唱団, 間宮芳生, 指揮 ほか

日本とフィンランドを繋ぐ、記念碑的合唱作品☆彡

二人の現代音楽作曲家、オッリ・コルテカンガスと間宮芳生さんの共作による合唱組曲《木のうた》を収録。演奏は静岡児童合唱団と北フィンランドのオーライネン・ユースコーラス。3つの異なる言語が使われ、1つの作品を通して、お互いの文化とハーモニーが重なる様子は感動的です。その他にも、合唱によるシベリウス《フィンランディア賛歌》やフィンランド民謡など、フィンランドの合唱文化を知る上でも欠かせない一枚となっています。

Finnish piano music collection（1988年）

- 請求記号：XD77052
- 演奏者：館野泉, ピアノ

むせかえるほどの北欧の香りが広がる一枚♪

フィンランド音楽の普及に長年貢献してきた館野泉さんの演奏による、フィンランド人作曲家のピアノ小品集。シベリウスと同時代を生きた作曲家（実はフィンランドではシベリウスよりも人気のある）メリカントや、「北欧のショパン」と呼ばれるバルムグレンの美しく抒情的な作品の数々。ピアノ発表会やコンクールでは定番曲となっている、カスキ作曲《激流》も収録しています。

Symbiosis（2005年）

- 請求記号：XD57743
- 演奏者：ヨウコ・ハルヤンネ, トランペット; クオピオ交響楽団; 新田ユリ, 指揮

これぞまさに、日本とフィンランドの「協奏」的な作品集

長年にわたり、本学の講師としてご指導いただき、昨年度ご退官された新田ユリ先生指揮、フィンランドのクオピオ交響楽団の演奏による、ソロトランペットをフィーチャーした現代オーケストラ作品集♪日本とフィンランドを拠点とされている新田先生は、現代のクラシック音楽界において、まさしく両国の架け橋的な存在。日本人作曲家、長生淳さんの委嘱作品《Symbiosis》管弦楽版が収録されているこちらのアルバム。なんと、同作品の吹奏楽版は、2004年（17年前！）に本学のブラスオルケスターの定期演奏会で初演されています。本学とも縁の深い一枚、これは要チェックです☆

Others

Works for cello and piano / Michio Mamiya

- 請求記号：XD77709
- 演奏者：高橋麻理子, チェロ; 山田剛史, ピアノ

館野泉 × 吉松隆

- 請求記号：XD67775
- 演奏者：館野泉, ピアノ

Night by the sea / Heino Kaski

- 請求記号：XD44161
- 演奏者：館野泉, ピアノ; ミカエル・ヘラスヴォ, フルート (第16曲)



展示資料一覧

5.After シベリウス

Chamber music / Kaija Saariaho (2001年)

- 請求記号：XD53780
- 演奏者：the Wolpe Trio ほか

フィンランドの現代音楽シーンを牽引するカイヤ・サーリアホの室内楽作品集♪

北欧の自然をほうふつとさせる、どこまでもみずみずしく、洗練し尽くされた響きは、フランスパリのIRCAM（フランス国立音響音楽研究所）での留学経験もある彼女独自のスタイルといえます。京都の日本庭園に着想を得て作曲された《6つの日本庭園》（なんと、本学委嘱作品！）も必聴です。

Anna Liisa / Veli-Matti Puumala (2014年)

- 請求記号：XD71282
- 演奏者：Jan Söderblom, conductor ほか

フィンランドの作家、ミンナ・カントの小説をもとにしたオペラ

作曲は、シベリウス音楽院作曲科の教授でもあるヴェリ=マッティ・プーマラ。19世紀に活躍したミンナ・カントの著作は、フィンランド国内において、女性解放の機運を高めたことで知られ、現代のフィンランド社会に息づく、平等の思想にも大きな影響を与えています。主人公アンナ・リーサの悲劇的な生涯を描く、ヴェリ=マッティの多彩なオーケストレーションにも脱帽です...!

The music of Magnus Lindberg (2001年)

- 請求記号：XD48264
- 演奏者：フィルハーモニア管弦楽団; エサ=ペッカ・サロネン, 指揮 ほか

「現代音楽はちょっと」...と敬遠してしまう、そんなあなたにおすすめの一枚!

カイヤ・サーリアホに並ぶフィンランドの現代音楽界の巨匠、マグヌス・リンドベルイのオーケストラ作品集♪「ゲンダイオンガク」というワードが想起させる、どこか薄暗くて怖い...というイメージを払拭してくれます! 変形自在なカラフルなサウンドは、まるでハリウッドの映画音楽のようでもあります。指揮は、フィンランドを代表する指揮者兼作曲家、エサ=ペッカ・サロネン。

Piano concertos 1 & 2 / Einojuhani Rautavaara (1989, 1990年)

- 請求記号：XD51392
- 演奏者：Leipzig Radio Symphony Orchestra, Max Pommer, conductor

彼こそシベリウスの後継者!?

フィンランドを代表する気鋭の現代音楽作曲家、エイノユハニ・ラウタヴァーラ（覚えづらい人は10回くらい暗唱してみてください）のピアノ協奏曲第一番、第二番を収録したアルバム♪ プロコフィエフを想起させる、ゾクゾクするほど激しいピアノリズムは、ピアニストの指先が出血してしまうのでは...と心配になるほど。(笑)一方で、シベリウス譲りの雄大な自然を想起させるような抒情性も兼ね備えた「ニクイ」作風は、きっと多くの人を虜にすることでしょう。ディープなフィンランドの現代音楽の世界、ぜひ体感してください!

Others

Magnus Lindberg
Kaija Saariaho
Etc...

Salonen

- 請求記号：XD62447
- 演奏者：エフィム・プロンフマン, ピアノ (第2, 3曲);
ロサンゼルス・フィルハーモニック,
エサ=ペッカ・サロネン, 指揮 (第1, 2曲)

Symphonies 5 & 7 / Kalevi Aho ; Leipzig Radio Symphony Orchestra ; Max Pommer, [conductor]

- 請求記号：XD19388
- 演奏者：Leipzig Radio Symphony Orchestra ; Max Pommer, [conductor]

展示資料一覧

おまけ

Jeux d'anches = [Finnish works for accordion] (1991年)

- 請求記号：XD17336
- 演奏者：Matti Rantanen, accordionほか

合唱だけじゃない！実はアコーディオン大国（！）なフィンランド

20世紀以降、発展を遂げたアコーディオン。フィンランドでは古くから国民に愛されており、毎年夏には大規模なアコーディオンの音楽祭が開催されるほど。このアルバムでは、戦後の現代音楽をけん引するフィンランド人作曲家によって書かれた作品を、気鋭のフィンランド人アコーディオン奏者、マッティ・ランタネンが熱演！まさに「可能性無限大」なアコーディオンの魅力を十二分に味わえる一枚。

チェロ・ソナタ短調 作品19/ラフマニノフ. マリンコニア:メランコリー:作品2 / シベリウス. ヴォカリーズ作品34の14 /ラフマニノフ. ポロネーズイ長調:チェロとピアノのための/ドヴォルザーク(1984年)

- 請求記号：XD 1873
- 演奏者：ハインリヒ・シフ,チェロ;エリーザベト・レオンスカヤ,ピアノ

シベリウスの作曲家魂、ここにあり

チェロとピアノのための《マリンコニア 作品20》は、シベリウス作品の中では筆者一番のお気に入り。シベリウスは生涯で2曲しかチェロのための作品を書きませんでした。《マリンコニア》は、シベリウスの末娘の三女キルスティがチフスによって亡くなった直後に書かれており、悲痛で暗い趣の作品となっています。わずか3時間（！）ほどで一気に創作されたというこの作品では、シベリウスの深い悲しみがほとばしる筆致で綴られており、まさに「丸裸な」作家の姿がここにあります。ぜひ手にとってみてください。

突然
ですが

フィンランド豆知識

02 世界最高峰とされる金管楽器コンクール開催地



フィンランドでは、世界最高峰とされる金管楽器のコンクール「リエクサ国際コンクール」が毎年行われています。2018年、ユーフォニアム部門では、佐藤采香さんが邦人として初優勝を果たしています。

03 世界をリードする！フィンランドの音楽教育



「教育先進国」として有名なフィンランド。音楽教育においても、国内には、Musiikkiopistoという子供のための音楽学校がいたるところにあり、国からの経済的支援により、受験の必要なく誰でも（！）入学することができます。初歩のハーモニーの習得として、伝統楽器カンテレが用いられるなど、フィンランドならではのカリキュラムにも注目が集まっています。

<https://www.lib.kunitachi.ac.jp/>

2021.11 国立音楽大学附属図書館

